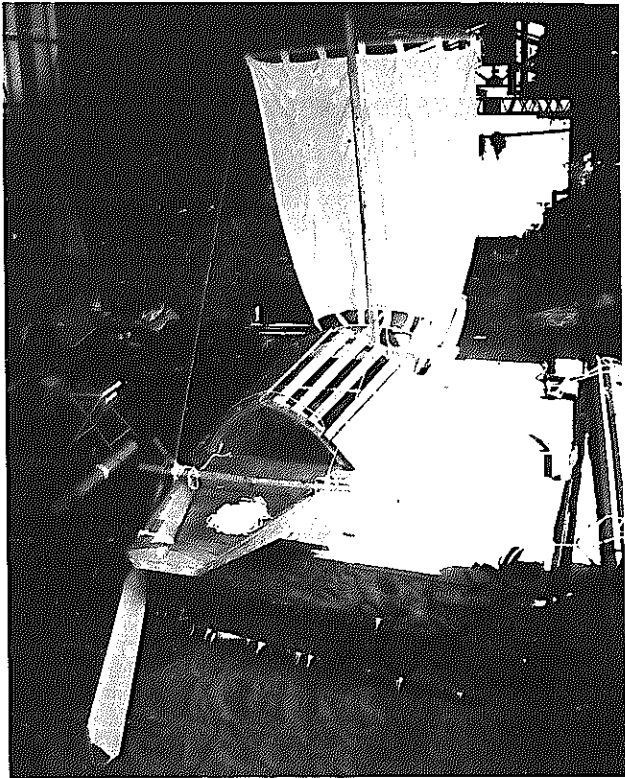


水運の昔をしのぶ長船を復元

——しろね大風と歴史の館——

来年夏のオープンに向けて、着々と準備が進む「しろね大風と歴史の館」。歴史展示コーナーの目玉は川船や民家の復元です。このほど、代表的な川船である「長船」が復元されました。実物の二分の一の大きさ（長さ六・七メートル、幅四・五メートル）で、かみやさおなど、小さな付属品に至るまで、すべて忠実に作られています。川船の復元は、全国的に見ても珍しいもの。材料はほとんどが杉で、



一部、縁などにクサマキが使用されています。長船は江戸時代から明治初期にかけて、信濃川や中ノ口川で運行された帆掛け船。荷物や人員の輸送に大きな力を発揮していました。当時、白根町は水運の中継地として発展。特産の染め物、鉄器、仏壇、農産物などが各地へ運ばれていき、新潟や三条からは生活物資などが運ばれてきました。

長船を復元したのは黒埼町の小林梅八さん。江戸時代から続いた船大工ですが、木造船を造ったのは約四十年ぶりのことです。「長船には夫婦や親子など二人組で乗り込むのが普通だった。津川や北蒲原まで海産物を積んでいき、帰りには庭石や炭を積んできた。昔はそういう船頭が大勢いたものだ」と振り返ります。船には狭いながら、布団や炊事道具を積んで寝起きするスペースもありました。信濃川や中ノ口川を所狭しと走っていた長船ですが、その姿を撮影した写真は、残念ながら今のところ見つかっていません。時代を越えて、平成の世に生まれ変わった長船は、私たちに水運の街白根をしのばせてくれることでしょう。

コメ市場開放阻止・自給堅持白根市大会 自由化反対を強くアピール

「コメ輸入自由化反対」、「コメの国内自給を」と叫ぶ農業関係者たちが一堂に集結したコメ市場開放阻止・自給堅持白根市大会。十一月十一日、カルチャーセンターで開催され、市内の農家、米穀業者、消費者ら、約四百五十人が参加しました。これは、政府のコメの緊急輸入決定など農業者の不安が増大する中、「日本の農業を守ろう」と白根市農業振興協議会が主催したものです。大会で生産者を代表して所信表

白根市自給堅持阻止大会



明をした根岸生産組合の古田幸男さんは「現実の作況指数は国の発表を大きく下回る。輸入自由化を阻止し、国内自給を堅持しなければならぬ」と強く訴えました。

板東英二講演会 テレビを信用したらアカン



タレントの板東英二さんを迎えた文化講演会が十月二十五日、カルチャーセンターで行われました。超売れっ子タレントの講演とあって、会場にはおよそ一千五百人が詰め掛けました。板東さんはジョークを織り交ぜながら、テレビ番組の内幕を披露。「テレビや新聞の情報は操作されている。一方的に情報を受けるのではなく、疑問を持ち、比べ、考えながら情報に接してほしい」と訴えました。ブラウン管と変わらない軽妙な語り口で、聴衆を笑いの渦に巻き込んだ板東さん。ユーモアの中にキラリと光るものが残った一時間三十分でした。

不法投棄はやめて

環境衛生協会
河川パトロール



ゴミの不法投棄をなくそうと、市と市環境衛生協会が十月二十五日、河川パトロールを行いました。大通川の堤防付近には、木の枝や電化製品などが山積み。中には瓶だけを詰めた肥料袋もありました。「なぜこれを収集日に出せないのか」と、協会員も首をかしげます。トラックで捨ててきたとしか思えないゴミ。協会員らは分類しながら袋に詰めましたが、すぐにトラックはいっぱい。不法投棄は立派な犯罪です。環境を守るためにも、絶対にやめてほしいものです。

健康づくりに一工夫

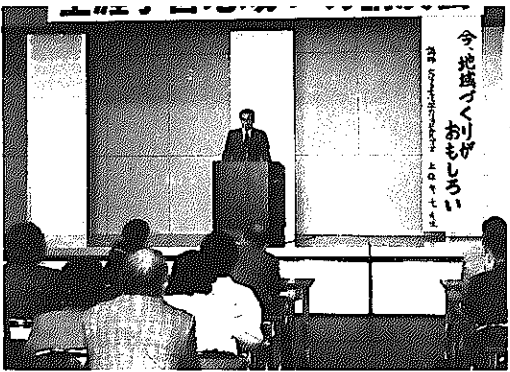
市連合保健会
健康展'93



みんなで健康づくりを考えようと市連合保健会と市が主催した健康展'93が、十一月十四日、保健センターで行われ、約百二十人の市民が訪れました。催し物は健康相談やダンス講習会など、健康づくりに役立つものばかり。食生活改善コーナーでは、低カロリーでおいしく食べられる料理を紹介。野菜嫌いの子供が、ニンジンを使ったゼリーをべろりとたいらげてしまっています。「ちょっととした工夫で子供に栄養を与えられる」と参加者に好評でした。

ユニークな街づくりを紹介

生涯学習推進協議会
まちづくり講演会



十月二十四日、カルチャーセンターで白根市生涯学習推進協議会主催のまちづくり講演会が開かれ、約百人の市民が参加しました。講師は文部省生涯学習局社会教育官の上條秀元氏。体験に基づいたさまざまな街づくりのノウハウを紹介しました。同氏は「生涯教育は住民の内側から学習意欲を起すことが必要。そのためには地域の特色を生かすことが大切」と強調。全国各地のユニークな事例を交えながらの講話に、参加者は熱心に聞き入っていました。

今日は女性消防署長です

白根地区消防本部
一日消防署員



十月二十九日、市内の婦人会代表者十五人が白根消防署の一日署員に就任。防火訓練を見学、体験しました。これは市民の防火意識の向上を図る目的で白根地区消防本部が行ったもの。消防長室で辞令を交付された新署員たちは、放水訓練、救助訓練などを見学。その後、救助用のひもの結び方などを、指導を受けながら体験しました。消防署長を務めた吉田一子さん（中鷲ノ木）は「これを契機に一層防火への心構えを強めたい」と話していました。